

大学院法学研究科 法学政治学専攻の3ポリシー

●前期博士課程

【学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

法学研究科は、所定の単位を修得することにより、深い教養と豊かな学識に加えて、以下のような規準を満たした学生に、修士学位を授与します。

- (1) 比較法的・歴史的・基礎法的研究を行う能力を身につける。
- (2) 政治に関する高度の研究を行う能力を身につける。
- (3) 法学・政治学に関する高度の専門性を必要とする職業を担う能力を身につける。

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

- (1) 比較法的研究を行うために必要な外国語能力を修得する科目を開講する。
- (2) 歴史研究を行うために必要な史料批判の方法を修得する科目を開講する。
- (3) 基礎法的研究を行うために必要な構造認識および課題設定能力を養う科目を開講する。
- (4) 政治に関する歴史的・理論的・実証的研究の方法を修得する科目を開講する。
- (5) 法学・政治学に属する各研究分野の最先端の英知と専攻を超えて討議する能力を養う科目を開講する。

【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

- (1) 法学的・政治学的問題に豊かな関心を持ち、解決策を模索する強い意志を持つ人。
- (2) 実務経験の中で生じる問題を、法学的・政治学的観点から考察しようとする意志を持つ人。
- (3) 法学・政治学の高度の研究を遂行するために不可欠な基礎的知識を持つ人。
- (4) 自己の見解を論理的に構築・展開して、相手に説明し正当化する能力を持つ人。

●後期博士課程

【学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

法学研究科は、所定の単位を修得することにより、深い教養と豊かな学識に加えて、以下のような規準を満たした学生に、博士学位を授与します。

- (1) 比較法的・歴史的・基礎法的研究を自立して行う能力を身につける。
- (2) 政治に関する高度の研究を自立して行う能力を身につける。

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

- (1) 比較法的研究を行うために必要な外国語能力を修得する科目を開講する

- (2) 歴史研究を行うために必要な史料批判の方法を修得する科目を開講する。
- (3) 基礎法的研究を行うために必要な構造認識および課題設定能力を養う科目を開講する。
- (4) 政治に関する理論的又は実証的研究の方法を修得する科目を開講する。
- (5) 法学・政治学に属する各研究分野の最先端の英知と専攻を超えて討議する能力を養う科目を開講する。

【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

- (1) 法学的・政治学的問題に深い関心を持ち、解決策を模索する強靱な意志を持つ人。
- (2) 自立した研究者として、法学・政治学の高度の研究を遂行するために不可欠な法学的・政治学的知識を持つ人。
- (3) 法学・政治学の通時的・共時的研究をするために必要な外国語の能力を持つ人。
- (4) 自己の見解を論理的に構築し、それを文章化して広く世に問う能力を持つ人。